

vol. 02

平成28年度 第2号  
(年間4回発行 通巻第140号)

# 組合活性化情報 中央会とくしま

特集1

平成28年度 徳島県商工労働観光部  
主要施策の概要

特集2

マイナンバー制度(第4回)

年末調整に向けて  
マイナンバーの収集はお済みですか?

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



# 組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 02

平成28年度 第2号  
(年間4回発行 通巻第140号)

特集  
①

平成28年度  
徳島県商工労働観光部  
主要施策の概要

2

特集  
②

マイナンバー制度 (第4回)  
年末調整に向けて  
マイナンバーの収集はお済みですか?

16



株式会社オーム技研

17

## 組合ホットニュース

20

- ◎阿波スピンドル株式会社本社(阿波ネット協同組員)  
健康づくり推進活動功労者知事表彰を受賞!
- ◎徳島県室内装飾事業協同組合  
創立40周年記念式典・祝賀会開催

## 情報連絡員レポート

21

平成28年8月の景気動向

## 青年部コーナー

22

◎青年部活動トピックス

## 中央会トピックス

24

- ◎徳島県官公需適格組合協議会通常総会・懇親会開催
- ◎中央会間連携協定事業に係る鳥取県企業との交流会

## 日本全国名城めぐり 映画の日々

25

## 楽にいこう

26

「出来事に意味はない、あなたが意味を与えるまでは  
～フレームの掛け替え～」

## お知らせコーナー

28

◎中小企業等経営強化法について



### 表紙絵

作者: 徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

### タイトル: 「そばの花」

つるぎ町貞光の猿飼集落は、名瀑・鳴滝や土釜といった名勝地付近に位置する急傾斜地の集落で、野菜やそばなどを生産しています。毎年10月になると、傾斜25度を超える急傾斜の畑一面がソバの白い花で彩られ、美しい景色を生み出します。県西部2市2町で「徳島剣山世界農業遺産推薦協議会」を結成して、ここ猿飼集落で見られるような剣山山系の急傾斜地農法を世界農業遺産への登録を目指して運動しています。



# 特集

## 1

# 平成28年度 徳島県商工労働観光部 主要施策の概要

## I 本県経済の潜在力強化と発揮

### 1 安定した経済活動を支える環境整備

#### (1) 支援制度の整備

##### ① 中小企業・雇用対策事業特別会計

中小企業対策及び雇用対策に取り組むため、中小企業・雇用対策事業特別会計を設置し、各種事業を積極的に推進する。

##### ② 頑張る中小企業応援体制構築事業 11,396 千円 (② 11,481 千円)

本県ゆかりの方々の参画による「とくしま経済飛躍サミット」を開催するなど、県内経済の飛躍に向けた気運醸成を図る。

#### (2) 商工団体の企業支援機能の強化

##### ① 地域産業活性化事業 1,055,816 千円 (② 1,080,027 千円)

商工会議所、商工会及び商工会連合会並びに中小企業団体中央会の機能の充実と組織基盤の強化を推進し、地域経済の飛躍を図るため、商工会議所、商工会及び商工会連合会が行う小規模事業者等への経営改善普及事業及び指導事業、また、中小企業団体中央会が行う中小企業の組織化推進及び中小企業団体の育成・指導事業に対して助成を行い、各団体の支援機能充実・強化を図る。

また、若手経営者、女性経営者の創造的な事業活動の促進を図るため、商工会、商工会議所、中小企業団体中央会に設置されている青年部及び女性部が行う連携事業等に対して助成を行う。

#### (3) 企業防災の強化

##### ① とくしまBCP策定支援事業 1,000 千円 (② 1,000 千円)

「南海トラフ巨大地震」の大規模災害を想定し、県内企業の事業継続力・災害対応力向上を図るため、産学官による一層の連携のもと、事業継続計画（BCP）策定段階に応じた研修や指導によるきめ細やかな導入支援を図り、災害に強い「とくしま企業ブランド」を構築する。

#### (4) 経営・金融両面からの一体的な支援

##### ① 中小企業経営改善計画支援事業 2,500 千円 (② 4,000 千円)

金融円滑化法が終了し、返済猶予を受けることや経営改善に必要な経営改善計画の重要性が増しているなか、地域を支える小規模・零細事業者の経営環境は依然厳しい状況が続いており、廃業を検討している事業者が多く見られる。そこで、小規模・零細事業者が事業継続に向け、経営改善の取り組みができるよう、頑張る小規模・零細事業者を経営・金融の両面から一体的に支援する。

##### ② 中小企業向け融資制度の拡充

##### ア 中小企業振興資金貸付金 21,581,000 千円 (② 21,449,000 千円)

県内中小企業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、中小企業向け融資制度において、「経済変動対策資金」などにより、資金繰りの円滑化を図るとともに、「創業者無担保資金」の融資条件を改正するなど、地域経済の活性化に向けた金融面からの支援を行う。

- ・経済変動対策資金融資枠 45,000,000 千円
- ・経営安定借換資金融資枠 25,000,000 千円

イ 中小企業金融円滑化事業 427,269 千円 (② 397,344 千円)

中小企業向け融資制度において、中小企業者の負担する信用保証料の一部を（公財）とくしま産業振興機構が「信用保証料補給金」として支出する事業に対し、その必要経費を負担する。

③ 貸金業者の指導監督 570 千円 (② 426 千円)

貸金業を営む者の業務の適正な運営を確保するとともに、資金需要者等の利益の保護のため、徳島県登録の貸金業者に対し、業界の自主規制機関である日本貸金業協会とともに、指導監督及び適切な登録業務等を実施する。

(5) 経営支援の強化

① オンリーワン企業の育成支援

ア オンリーワン・チャレンジ支援事業 1,100 千円 (② 1,100 千円)

独自の技術やサービスをもとに「オンリーワン企業」として成長する意欲と可能性を持つ県内企業の事業計画を認定し、地域経済の核となる企業を育成するとともに、経営革新に取り組む中小企業を支援する。

イ 中小企業総合支援事業 112,772 千円 (② 106,840 千円)

意欲的な中小企業を総合的に支援するため、（公財）とくしま産業振興機構を本県中小企業支援体制の中核となるべき法人として指定し、創業の支援、中小企業の経営相談や助言、経営情報化の支援等の事業を実施する。

- ・経営支援事業 24,631 千円 (② 24,177 千円)
- ・情報支援事業（再掲） 85,809 千円 (② 76,912 千円)
- ・創業・新事業創出支援事業 2,332 千円 (② 2,251 千円)

② 経営体質の強化

ア 経営品質パワーアップ事業 3,500 千円 (② 3,500 千円)

「徳島県経営品質賞」への申請を通じて、県内企業の経営革新を促進するため、申請企業の発掘から、アセスメント記述に至るまでの体系的な支援を実施する。

イ 改善エキスパート認定事業(中小企業総合支援事業のうち)(再掲) 250 千円(② 250 千円)

企業の現場改善に優れた能力を持つ人材を認定し、県内企業の現場改善活動を活性化する。

(6) 企業防災の強化

① 土砂災害減災対策資金（再掲） 150,000 千円 (② 500,000 千円)

台風等の大規模災害の発生に備えるため、土砂災害警戒区域等からの移転に要する経費を対象とした低利融資を行う。

② 地震防災対策資金（再掲） 2,000,000 千円 (② 2,000,000 千円)

中小企業向け融資制度において、建物の耐震化や内陸部への移転など地震防災・津波浸水対策及びBCPに基づいた企業防災対策に取り組む企業に対し、低利融資を行う。

(7) 創業支援の強化

① 起業家の創出支援

ア 創業促進・あったかビジネス支援事業 19,500 千円 (② 16,000 千円)

独自の技術や知識、能力、経験を活かし、県内で新たに創業する者等を対象に事業計画を認定し、経営アドバイス等の各種支援を行うことにより、起業家の創業促進を図る。

- ・起業家セミナーの実施
- ・「創業オフィス（エッグルーム）」の提供

イ 平成藍大市あったかビジネス大賞事業 950 千円 (② 950 千円)

地域密着型の創業計画について、認定の翌年に審査を行い、あったかビジネスプラン優秀賞を決定し、顕彰を行う。また、希望者にはとくしまビジネスチャレンジメッセにおける出展ブースを提供する。さらに、計画が終了した事業者から平成藍大市あったかビジネス大賞

を決定・顕彰し、経営相談等、創業期のトータルサポートを行う。

ウ 女性の創業加速化推進事業⑩10,000千円

女性による創業の促進を図るため、女性を対象に創業に向けた講座を開催するとともに、経営に必要な知識やスキルを身につける場としての「支援ルーム」を運営する。

エ とくしまSOHO支援事業（情報支援事業のうち）（再掲）13,019千円（②7 13,019千円）

- ・とくしまSOHOプレイスの提供
- ・ベンチャールームの提供
- ・徳島チャレンジルームの提供
- ・徳島クリエイティブ交流サロンの提供

オ 新商品お試し購入強化事業

カ 創業支援分野

（とくしま経営塾「平成長久館」事業のうち）2,888千円（②7 2,888千円）

② 県外からのU I Jターナー者等の創業・就業支援

ア 「ふるさと回帰」事業

（創業促進・あったかビジネス支援事業のうち）1,500千円（②7 1,500千円）

都市部からのU I Jターナー者等が県内で創業する際に、「あったかビジネス」の事業認定及び専門家による相談や貸室支援を有利な条件で提供する。また、小売・飲食店等を開店する際に、開業資金の一部を助成することにより、地域の商店街や共同店舗の活性化を推進する。

(8) お試し発注の取組み強化

① 新商品お試し購入強化事業 10,000千円（②7 10,000千円）

頑張る中小企業や社会的課題に積極的に取り組む企業を応援し、開発意欲を高めるとともに、高品質な新商品の開発を加速するため、県が新商品等を率先購入し有効性や品質を実証することなどにより、販路拡大を強力に支援する。

(9) 県内企業の受注機会の確保

県内企業への優先発注、県内産資材の原則使用等の推進を図る。

(10) 地域ブランドの育成

① 地場産業総合サポート事業 9,031千円（②7 9,031千円）

本県の代表的な地場産業である木工業や機械金属工業の組合が取り組む新製品・新技術の開発や販路開拓など地域ブランド力強化を支援する。

② 地場産業の振興等

ア 計量の適正化と計量知識の普及 8,416千円（②7 8,649千円）

計量器の検定、定期検査を行うとともに計量知識の普及に努め、適正な計量器の供給と計量取引の適正化を推進する。

イ 電気関係事業の適正化 3,000千円（②7 3,214千円）

電気工事業の業務の適正化に関する法律等の関係法令に基づく電気工事業者の登録、電気工事士免状の交付等を行い、一般用電気工作物及び自家用電気工作物の保安を確保し、災害の防止に努める。

(11) お試し発注の取組み強化

① L E D応用製品普及加速化事業（再掲）10,000千円（②7 10,000千円）

県が、県内企業による優れたL E D応用製品を率先購入し、その高い品質を自ら立証することとで、本県産L E D製品の販路拡大を支援する。

2 「稼ぐ力」の強化に向けた成長産業の創出

(1) クリエイティブ産業の育成と集積

① 徳島クリエイティブ産業育成プロジェクト⑩166,000千円 [※②7 2月補正繰越]

ア 4K推進事業 50,000千円

4K 先進県徳島を国内外へ発信し、関連企業やクリエイターの集積につなげるため、日本初の4Kコンテンツの祭典「4K 徳島映画祭 2016」の開催や、ケーブル4Kでの阿波おどり4Kライブ中継、徳島県内制作の番組による地域初の4K試験放送、日本屈指の国際放送機器展「InterBEE2016」への出展などを行うとともに、徳島に関連する4K映像をアーカイブし、活用できる環境を整えることで、本県のPRにつなげる。

#### イ LED・デジタルアート推進事業 100,000 千円

国内外からの観光誘客やクリエイターの集積に向け、世界的なクリエイティブ企業と連携した「LEDデジタルアート作品」を制作・展示する。

#### ウ デザインシンキング講座 3,000 千円

ものづくり企業など県内中小企業向けにデザインの重要性を認識してもらうためのワークショップを開催する。

#### エ とくしまデザイン会議開催事業 3,000 千円

クリエイティブな力で産業振興、地域活性化などに新たな力を巻き起こしていくことを目的に、クリエイター、企業、大学、商工団体、自治体関係などからなる推進組織を設置し、地域づくりや企業のデザイン力を向上する取組を行う。

#### オ コンテンツ制作支援事業 2,000 千円

県内企業やサテライトオフィス進出企業と連携し、スマートフォンやタブレット端末用のゲームやビジネスアプリ等の開発を支援するためのアイデアソン、ハッカソンを開催する。

#### カ クリエイティブ人材育成事業 8,000 千円

新たな情報関連産業の創出やクリエイティブ人材の発掘・育成を図るため、高等教育機関や企業と連携して、人材発掘セミナーや小・中・高生を対象としたアニメーター育成のための講座、動画、WEBなどのコンテンツ制作に係るワークショップ、高校生・高専生を対象としたプログラミングセミナーを実施し、本県のデジタルコンテンツ産業を担う人材の育成を支援する。

### (2) 企業におけるICT化の推進

#### ① 情報支援事業（中小企業総合支援費のうち）85,809 千円（② 76,912 千円）

ICT利活用や高度なICT技術習得などの人材育成及び電子商取引導入への支援等の各種事業を積極的に実施し、県内産業のICT化を効果的に進めるとともに、SOHO事業者向けの支援施設を提供することにより起業家の創出を図る。

#### ・とくしまSOHO支援事業（情報支援事業のうち）13,019 千円（② 13,019 千円）

ICTやデジタルコンテンツを活用したSOHO事業者の創出を促進するため、オフィスを提供するとともにSOHO事業者間の交流を図るためのサロン運営など、SOHO事業者を総合的に支援する。

#### ② ICT企業情報化支援分野

#### （とくしま経営塾「平成長久館」事業のうち）1,480 千円（② 1,480 千円）

県内事業者の多くを占める中小企業者やその従業員等を中心として、ICTに関する集合研修を実施するとともに、インターネットによるe-ラーニングを活用した講座を実施することにより、地域活性化の担い手人材を育成する。

### (3) 「2つの光」を活用した関連企業の誘致

#### ① 企業立地優遇措置 801,576 千円（② 1,358,888 千円）

工場等の新增設に対する補助制度、融資制度等を整備、活用して、企業立地を促進する。特に本県の強みである「LED」、「光ブロードバンド環境」を活かした企業立地を進めるとともに、都市圏からの企業誘致を促進する。

#### ア 補助制度

(ア) 立地企業等に対し、次の補助金を交付する。

- ・LED関連産業立地促進事業補助金
- ・環境・エネルギー関連産業立地促進事業補助金

- ・ 医療・介護・健康関連産業立地促進事業補助金
- ・ 地域ブランド化推進企業立地促進事業補助金
- ・ 農工連携推進企業立地促進事業補助金
- ・ 新分野進出支援事業補助金
- ・ 研究所等立地促進事業補助金
- ・ 地方創生モデル型工場立地促進事業補助金
- ・ ベンチャー企業等事業化促進事業補助金
- ・ ニューファクトリー等導入促進事業補助金
- ・ 本社機能移転促進事業補助金
- ・ 雇用奨励事業補助金
- ・ 渇水対策施設整備事業
- (イ) 市町村等が行う次の事業に対し、補助金を交付する。
  - ・ 立地基盤整備事業補助金
  - ・ ふるさとクリエイター・テレワーク施設等導入促進整備事業補助金
- (ウ) クリエイティブ事業者及びS O H O事業者に対し、次の補助金を交付する。
  - ・ ふるさとクリエイティブ・S O H O事業者誘致事業補助金
- (エ) 外資系企業等に対し、次の補助金を交付する。
  - ・ 外資系企業等誘致事業補助金

#### イ 融資制度

金融機関と協調して、企業立地資金または特定地域企業立地資金を融資する。

#### ② 情報通信関連事業所の立地促進

##### ア 情報通信関連産業立地促進事業 120,000 千円 (⑦ 150,000 千円)

雇用の確保と地域産業の情報化の推進を図るため、コールセンター、データセンター、デジタルコンテンツ事業等情報通信関連産業の立地を促進する。

##### イ とくしま情報通信関連産業パワーアップ事業 1,714 千円 (⑦ 3,005 千円)

雇用拡大、地域経済の活性化を図るため、情報発信及び人材育成を効果的に行うことにより、成長分野で雇用創出効果の高い情報通信関連産業の集積を促進する。

##### ウ サテライトオフィス型テレワーク推進事業⑧20,000 千円 [※⑦ 2月補正繰越]

地方創生の実現を図るため、全国屈指の光ブロードバンド環境を活かしたテレワークの推進により、都市部の仕事を地方で行える環境を整備する。

#### (4) 戦略的企業誘致の推進

##### ① 工場団地等への企業立地の促進 12,343 千円 (⑦ 6,468 千円)

本県の優れた立地環境を活かし、企業立地を促進するため、P R 活動、情報収集、企業訪問など積極的な企業誘致活動に取り組む。

##### ア 個別企業訪問 (企業支援課、東京本部、大阪本部、名古屋事務所)

##### イ 企業誘致フォーラム (徳島県の産業施策や立地環境の紹介)

##### ウ 企業誘致P R活動(市町村等と連携したプロモーション活動、ホームページによる情報発信等)

##### エ 企業支援コーディネーターの活用

##### ② 「とくしま回帰」企業立地推進事業⑨5,000 千円 [※⑦ 2月補正繰越]

本県での企業立地を推進するため、徳島の立地環境を効果的に情報発信するとともに、人材確保や物件情報の提供など企業ニーズに応じた事業を行う。

#### (5) ワンストップサービスによる立地企業の支援

那賀川水系の渇水による工業被害を軽減するため、地下水送水設備の運用を図るなど、各種施策を円滑に実施する。

##### ア 那賀川水系渇水調整制度 15,000 千円 (⑦ 15,000 千円)

##### イ 地下水送水設備管理事業 13,652 千円 (⑦ 13,975 千円)

##### ウ 工業用水使用合理化設備資金貸付金 20,000 千円 (⑦ 20,000 千円)

(6) LEDバレイ構想・ワールドステージ行動計画の推進

① 「LEDバレイ構想・ワールドステージ」の推進

「LEDバレイ構想・ワールドステージ行動計画」に基づき、「ワールドステージ戦略」、「開発・生産戦略」、「ブランド戦略」、「販売戦略」の各戦略分野での取組みを加速化し、「LEDバレイ徳島」の世界展開を推進する。

ア LEDバレイ徳島・ワールドステージ推進事業<sup>⑩</sup>8,000千円〔※<sup>⑳</sup>2月補正繰越含む〕

「LEDバレイ徳島」の世界展開を推進するため、LEDの新用途開発や海外市場における販路開拓など、本県LED関連企業が持つ課題やニーズを踏まえた各種施策を展開する。

イ LEDバレイ構想推進事業 4,775千円（<sup>㉑</sup>4,178千円）

市場情報・企業情報の収集分析を踏まえ、各種支援機能の発信と活用による企業経営の質向上など、「LEDバレイ構想」の推進に取り組む。

ウ LED応用製品普及加速化事業 10,000千円（<sup>㉒</sup>10,000千円）

県が、県内企業による優れたLED応用製品を率先購入し、その高い品質を自ら立証することで、本県産LED製品の販路拡大を支援する。

② LEDトータルサポート拠点の機能強化

ア LEDトータルサポート拠点機能強化事業 8,565千円（<sup>㉓</sup>12,965千円）

LED製品の企画・開発から性能評価までワンストップで対応する性能評価体制を維持運営するとともに、国際規格ISO/IEC 17025を満たす「LED測光試験所」としての機能強化を推進し、市場競争力の高い県産LED製品の開発を促進する。

(7) 高機能素材等新成長産業の創出と集積

① 高機能素材関連産業創出モデル事業<sup>⑪</sup>5,000千円

高機能素材（CNF、CFRP等）による本県ものづくり産業の高度化や高付加価値化を図るため、高機能素材の活用を促進するコンソーシアムや研究会を設置し、関連産業の創出、活性化を目指す。

② ロボット関連産業創出モデル事業 2,500千円（<sup>㉔</sup>2,500千円）

ロボットテクノロジーの実用化を推進するため、産学官のコンソーシアムにより、CFRP等、本県ものづくり技術を結集し、介護分野等におけるロボットの技術開発を実施する。

(8) 健康・医療関連産業の創出

① 健康・医療クラスターステージアップ事業 53,000千円（<sup>㉕</sup>53,000千円）

「とくしま『健幸』イノベーション構想」に基づき、健康・医療関連産業の創出と糖尿病の克服に向けた取組みを加速化するため、研究開発と成果の事業化を推進する。

② 徳島型ヘルスケア産業創出モデル事業 2,000千円（<sup>㉖</sup>1,000千円）

健康・医療関連産業の創出を図るため、産学官で構成する「とくしま健幸寿命延伸産業創出プラットフォーム」を基盤に、企業の自立的な取組みを促進し、徳島発の新たなヘルスケアビジネス創出を支援する。

(9) 農商工連携の促進

① LEDバレイ徳島・ワールドステージ推進事業<sup>⑫</sup>（再掲）

うち農工商連携モデル事業

特定の波長を制御できる特性をもつLEDやロボット、ICT等、ものづくり企業が有する技術を融合し、農業分野での新たな事業創出を促進する。

(10) 企業の技術課題解決への支援強化

工業技術センターが保有する資源（人材、技術、機器）を最大限に活かし、県内企業が抱える技術課題に積極的に対応するため、技術支援チームによる技術相談・指導、受託研究など技術的な支援を行うとともに、新技術・新素材を活用した効率的な製品開発を促進する共同研究や公募型研究開発事業への提案に向けた産学官連携による共同研究を実施する。

① 国等の資金の活用

ア 技術シーズ創出調査事業 16,800千円（<sup>㉗</sup>8,000千円）

県内の産学官が連携し、大型の公募提案型事業の採択に向けた、事前調査などの予備的共同研究を行うことにより、国等の資金の有効活用による県内企業の新商品、新技術開発を促進する。

② 研究開発の強化

ア 試験研究業務 67,777 千円 (② 67,777 千円)

(ア) 経常研究 35,777 千円 (② 35,777 千円)

県内企業のニーズに対応したテーマについて研究開発を行い、その成果を技術指導等により県内企業に技術移転することにより、県内企業の技術力の向上を図る。

(イ) 特別研究 32,000 千円 (② 32,000 千円)

大学、民間企業等と共同研究開発事業を実施することにより、企業の新たな技術開発を支援する。

イ 技術指導事業

(ア) 頑張る企業技術支援事業 10,000 千円 (② 10,000 千円)

工業技術センターにおいて、県内企業の技術的課題に対応した受託研究、生産現場での技術指導（企業発掘指導、技術コーディネータ指導）等により、県内企業の技術開発力の強化を支援する。

ウ センター機械整備事業 30,393 千円 (② 36,120 千円)

公益財団法人 J K A 補助金を活用して機器を整備するとともに新たな分野への展開を図るための研究開発を行い、試験研究・指導体制の充実強化等を通じた県内企業の技術力向上を図る。

(11) 「とくしま経済飛躍ファンド」による支援

「徳島経済飛躍のための中小企業の振興に関する条例」の強力なエンジンとして、125 億円の「とくしま経済飛躍ファンド」を運用し、LEDをはじめ地域資源を活用した新製品開発などの先進的な取組みを支援するとともに、農商工連携による新たな事業創出を図るなど地域経済の活性化を促進する。

(12) 新商品・新技術の販路拡大支援

① 中小企業の「稼ぐ力」サポート事業 7,000 千円

本県経済を支える地場産業のイノベーションを促進し活性化を図るため、産学金官のそれぞれの強みを活かした知財連携及びスケールメリットを活かした四国4県連携により、新商品・新技術開発、販路開拓を推進する。

② ものづくり企業販路開拓総合支援事業 27,271 千円 (② 26,023 千円)

県内ものづくり企業のビジネスチャンス拡大を図るため、(公財)とくしま産業振興機構への助成を通じて、新商品・新技術の提案を行う「ものづくり新技術展示商談会」等の開催や県内中小企業の取引の円滑化・取引拡大に資する情報提供、あっせん、紛争相談等を総合的に実施する。

(13) 知的財産の創造・保護・活用

① 知的創造サイクル支援事業 3,730 千円 (② 3,829 千円)

県内企業に対して、知的財産に関する無料法律相談や特許流通を促進するなど、知的財産の創造・保護・活用サイクルを大きく循環させることにより、イノベーション創出を支援する。

(14) 科学技術の振興

「徳島県科学技術振興計画」に基づき、ヘルステクノロジー、LEDテクノロジー、ロボットテクノロジーなど戦略的推進分野を中心に、柔軟かつ計画的に科学技術振興施策を推進する。

3 海外の成長市場への挑戦と対内投資の促進

(1) 対内投資の促進

本県の強みであるLEDをはじめ、全国的にも注目されているサテライトオフィスなどの取組みを活かし、既存企業とのコラボレーションによる製品開発など、相乗効果が期待できる外資系

企業をターゲットとした誘致・投資促進を図る。

ア 補助制度（外資系企業等誘致事業補助金）（再掲）

イ 誘致に係る情報収集・PR活動（個別企業訪問、ホームページによる情報発信等）

(2) グローバル戦略の推進

① 世界へ飛躍！県内企業グローバル展開支援事業 51,839 千円（② 53,819 千円）

グローバルに展開する企業を育成し、県内経済の活性化につなげるため、新規市場の開拓や東アジア・東南アジアでの国・地域に応じた販路開拓支援を実施し、県内企業の海外展開を推進する。

② ハイレベル企業強化支援事業⑩10,000 千円 [※② 2月補正繰越]

県産品の海外への輸出促進と県内企業のグローバル化を促進するため、県産品の品質や県内企業の技術の高さをPRするための映像制作、海外ビジネスを行う企業の育成・活動支援等を実施する。

(3) 国際交流の推進

① 国際人材育成・交流事業 6,000 千円（② 7,000 千円）

グローバル人材の育成や地域の国際化を推進するため、ドイツ・ニーダーザクセン州との交流を実施するとともに、関係機関とも連携し、諸外国との交流を促進する。

(4) 多文化共生の推進

① 外国人にやさしい徳島づくり推進事業 14,407 千円（② 13,628 千円）

県内在住の外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進するため、日本語教室の開催や、日本語学習教材の作成を行うとともに、災害発生時に備えた支援のネットワークづくり等を実施する。

## II 次代を担う人材の養成・確保

### 1 多様な人材の参画促進

(1) 女性の活躍促進

① 女性の創業加速化推進事業（再掲）⑩

② 女性の潜在力ブラッシュアップ事業⑩3,000 千円

女性の活躍を促進するため、再就職を希望する女性に対し、基礎講習と職業体験を組み合わせた講座を実施するとともに、商工団体と連携した就職支援を行う。

③ テレワーク普及促進事業⑩22,350 千円 [※② 2月補正繰越含む]

県内のテレワークの普及を促進するため、企業のテレワーク導入にかかる相談体制の整備やテレワーカー育成研修を実施する。

④ ファミリー・サポート・センター機能強化事業⑩新 2,000 千円

ファミリー・サポート・センター全体の質の向上と病児・病後児預かりの推進を図るため、連絡会議を開催するとともに、会員向けの講習会を実施する。

⑤ 働き輝く！とくしまづくり応援事業 1,480 千円（② 1,850 千円）

働きやすい職場環境の整備とワーク・ライフ・バランスの実現を促進するため、「働く女性応援ネットワーク会議」及び「テレワーク活用ネットワーク会議」により、課題解決に向けた支援を実施する。

⑥ 「働くパパママ」就業促進事業 554 千円（② 928 千円）

仕事と子育ての両立を支援するため、職場環境の整備に取り組む企業の認証・表彰などを行う。

⑦ ウーマンビジネススクール推進事業⑩1,500 千円

管理職等を目指す女性を支援するため、県内大学と連携し、実践的なビジネススキルや幅広い知識について、働きながら学べる「ウーマンビジネススクール」を開講する。

(2) 雇用のトータルサポート

① 未来の若い力育成・確保事業 2,400 千円（② 3,000 千円）

県外大学生等のU I J ターン就職を促進するため、四国4県が連携し、地元就職促進に向けた取組みを実施する。

- ② **とくしまジョブステーション運営費 18,196 千円 (② 18,035 千円)**  
若年者、U I J ターン希望者等の就職を支援するため、就業相談、職業紹介等の雇用関連サービスなどをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」の運営を行う。
- ③ **若年者すだち（巣立ち）支援事業 7,293 千円 (② 7,293 千円)**  
徳島県内の「地域若者サポートステーション」において、専門家による個別相談等を実施し、若年無業者（ニート）等の自立を支援する。
- (3) **高齢者の就労機会の確保**
  - ① **シルバー人材センター機能強化促進事業④4,000 千円**  
シルバー人材センターの機能強化を図るため、シルバー人材センターにおける新たな「職域の拡大」、「就業機会の拡大」及び「会員の拡大」を支援する。
  - ② **シルバー人材センター等補助事業 8,500 千円 (② 8,000 千円)**  
働く意欲を持つ高齢者にその経験と能力を活かした就業機会の確保・提供を行うため、シルバー人材センターの育成に努める。
- (4) **障がい者の雇用促進**
  - ① **障がい者雇用促進強化事業 942 千円 (② 942 千円)**  
障がい者雇用を促進するため、企業表彰などにより企業の取組みをサポートするとともに、特別支援学校生徒に対する就労支援を行う。
- (5) **定住外国人の就労の支援**
  - ① **定住外国人就労・社会参加促進事業④2,000 千円**  
定住外国人の就労や社会参加を支援するため、就労に必要となる日本語や、知識・技能習得のための講座を開催する。
- (6) **テレワークの活用による多様な働き方の推進**
  - ① **テレワーク普及促進事業（再掲）**
- (7) **労働相談・労働法制の周知啓発及び労務管理の適正化**
  - ① **労働者サポート事業 1,341 千円 (② 1,341 千円)**  
県の労働問題相談窓口において、随時に相談を行うとともに、国等の機関との連絡会議の開催や労働法制関係の広報活動を積極的に行うことにより、労使間トラブルの未然防止や労働環境の改善を促進する。  
ア 労働相談（平日昼間）  
イ 労働情報の収集  
ウ 労働関係各種セミナー・会議等の開催  
エ 広報誌「労働徳島」等の労働関係普及啓発資料等の作成
  - ② **夜間・休日労働相談事業 5,302 千円 (② 5,302 千円)**  
平日（昼間）での相談体制では利用することが困難な労働者等が、平日（夜間）及び休日に労働相談を受けられる体制を整備する。
  - ③ **労働調査事業 131 千円 (② 131 千円)**  
労働組合調査等を実施する。
- (8) **勤労者の生活支援**
  - ① **勤労者の生活支援**
    - ア **勤労者支援資金貸付金 2,064,000 千円 (② 2,064,000 千円)**  
勤労者の生活安定、福祉の向上を図るため、勤労者のニーズに対応した融資制度の充実を図る。  
(ア) 勤労者住宅建設資金貸付金 726,000 千円 (② 726,000 千円)  
(イ) 勤労者ライフサイクル資金貸付金 88,000 千円 (② 88,000 千円)  
(ウ) 阿波っ子すくすくはぐくみ資金貸付金 650,000 千円 (② 650,000 千円)

出産や子育てを行う勤労者の教育資金等の低利融資を実施し、勤労者の経済的負担を軽減することを通じて仕事と子育ての両立を支援する。

(エ) 経済変動対策緊急生活資金貸付金 600,000 千円 (㊦ 600,000 千円)

## 2 専門性の高い人材の養成

### (1) 研修等による人材育成

#### ① とくしま経営塾「平成長久館」事業（一部再掲）17,000 千円 (㊦ 17,000 千円)

中小企業の「強い組織」づくりの支援のため、各種セミナー等を通じた経営の核となる人材の育成と経営課題解決のための専門家派遣を一体的、効果的に実施する。

#### ② クリエイティブ人材育成事業（再掲）8,000 千円 [※㊦ 2月補正繰越]

新たな情報関連産業の創出やクリエイティブ人材の発掘・育成を図るため、高等教育機関や企業と連携して、人材発掘セミナーや小・中・高生を対象としたアニメーター育成のための講座、動画、WEBなどのコンテンツ制作に係るワークショップ、高校生・高専生を対象としたプログラミングセミナーを実施し、本県のデジタルコンテンツ産業を担う人材の育成を支援する。

### (2) 県内外からの人材の確保

#### ① プロフェッショナル人材戦略拠点事業 68,000 千円 [※㊦ 2月補正繰越含む]

県内企業等の都市圏からのプロフェッショナル人材の確保や若年者の獲得を支援するため、プロフェッショナル人材戦略拠点を設置するとともに、大学生等と企業のマッチングイベントなどを実施する。

#### ② 地域創生人材育成事業 292,000 千円

地域における人手不足分野の人材育成を図るため、全国トップクラスのブロードバンド環境を活かし、地域活性化コーディネーターや、コールセンターオペレーター等を育成する職業訓練を実施する。

#### ③ インターンシップ等促進事業㊦2,000 千円 [※㊦ 2月補正繰越]

企業の求める人材と学生の希望とのミスマッチを回避し、若年者等のUIJターンを促進するため、就職促進協定締結大学や、経済団体と連携し、インターンシップ、企業見学会等を実施する。

### (3) 職業能力開発体制の充実

#### ① 県立テクノスクール等の充実強化

新規学卒者及び離転職者等に対し職業訓練を実施して、技能労働者の育成に努め、職業の安定と就職の促進を図る。

また、社会経済情勢の変化に伴う訓練需要に対応するため、雇用関係団体・施設等との連携を強化するとともに、施設内訓練及び委託訓練の多様化に努める。

#### ア 養成訓練費 9,914 千円 (㊦ 9,958 千円)

中学・高校の新規学卒者等に対し、職業の安定と産業界の発展に寄与するため、基礎的な職業訓練を実施して技能労働者の育成に努める。

#### イ 向上訓練費 372 千円 (㊦ 377 千円)

技術革新等に対応した、より高度な技術を習得させるため、在職中の技能労働者に対し、技術向上訓練を実施する。

#### ウ 職業能力開発校の整備 53,054 千円 (㊦ 13,938 千円)

県立テクノスクールの施設整備及び技術革新等に対応した訓練機器の整備等を行う。

#### エ テクノフロンティア訓練プロジェクト事業 6,633 千円 (㊦ 8,191 千円)

実践力のある産業人材の育成を推進するため、農業分野の訓練等を行う。

#### オ 転職訓練費 361,761 千円 (㊦ 397,607 千円)

厳しい雇用情勢に対応するため、離職者等に対する職業訓練を拡充し、雇用のセーフティネットの充実を図る。

#### カ テクノスクール・デュアル訓練事業 2,360 千円 [※㊦ 2月補正繰越]

テクノスクールでの職業体験や産業界と連携した実践的な現場作業訓練を実施する。

キ テクノスクール障がい者雇用促進事業 641 千円 (⑦ 1,000 千円)

「発達障がい者総合支援センターアイリス」利用者、特別支援学校生等の障がいの者の就労を支援するため、西部テクノスクールにおいて就労現場に沿った作業体験を実施する。

② 民間における職業能力開発の促進

労働者が職業生活の全期間を通じて能力を開発・向上できるよう、職業訓練を行う事業主等に対し支援を行う。

ア 職業訓練指導員試験の実施 131 千円 (⑦ 131 千円)

職業能力開発施設で指導を行う職業訓練指導員の確保を図る。

イ 認定訓練助成事業費補助金 3,294 千円 (⑦ 3,668 千円)

県の認定を受け、職業訓練を行う中小企業事業主等に対し、その運営費等を助成する。

(4) ものづくり人材の育成強化

① 徳島版マイスター制度創設事業 1,800 千円 [※⑦ 2月補正繰越]

本県産業界に「技能」と「誇り」を持った人材を供給するため、教育制度が産業界と連携しているマイスター制度の本場であるドイツと交流し、徳島ならではの職業訓練システムである「徳島版マイスター制度」の創設を図る。

② ものづくり人材育成強化事業 8,000 千円 [※⑦ 2月補正繰越含む]

若年技能者の技能向上を図るため、テクノスクール訓練生、工業高等学校生及び若手建設技能者等を対象とした技能競技大会を開催するとともに、技能五輪全国大会等への出場選手を育成するための在職者訓練及び選手派遣の支援を行う。

③ 職業訓練、技能検定の推進 27,100 千円 (⑦ 27,100 千円)

技能水準の向上を図るため、職業能力の開発・向上に取り組む団体に対する支援等を通じて、民間における職業訓練及び技能検定の普及、振興を図る。

④ 技能尊重気運の高揚 982 千円 (⑦ 1,059 千円)

ア 職業能力開発促進月間行事の実施

11月の職業能力開発促進月間を中心に、技能尊重気運の高揚と技能検定制度の普及を図る。また、職業能力開発促進大会を開催し、職業訓練・技能検定関係功労者及び技能検定成績優秀者の表彰、体験発表等を行い技能尊重気運の高揚を図る。

イ 卓越した技能者の表彰等(阿波の名工)

卓越した技能者の表彰等を行い、技能者の地位及び技能水準の向上を図る。

(5) 地域グローバル人材の育成

① 地域グローバル人材育成事業 8,820 千円 (⑦ 6,300 千円)

県内企業のグローバル化を図るため、経済団体や企業、高等教育機関との協働により、学生の海外留学や国内外インターンシップ活動を支援し、県内就職へと促す事業を実施する。

## Ⅲ 交流人口の拡大による地域活性化

### 1 伝統と革新が共存するコンテンツづくり

(1) LEDデジタルアートの推進

① LED・デジタルアート推進事業(再掲) 100,000 千円 [※⑦ 2月補正繰越]

国内外からの観光誘客やクリエイターの集積に向け、世界的なクリエイティブ企業と連携した「LEDデジタルアート作品」を制作・展示する。

(2) 「徳島県観光振興基本計画(第2期)」の推進

「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づき平成26年度に策定した「徳島県観光振興基本計画(第2期)」の推進を図るため、官民一体となって「魅力あふれる観光地づくり」や「新たな観光旅行の開拓」など本県観光振興に向けた施策を戦略的かつ積極的に実施する。

(3) 阿波おどりの通年化による誘客促進

- ① 阿波おどり振興費
- ア 秋の阿波おどりステップアップ事業<sup>⑩</sup>10,000千円 [※<sup>㉔</sup>27年度2月補正]  
阿波おどりの通年化と本県への観光誘客を促進するため、全国の踊り連が本場徳島に集い交流する一大イベント「秋の阿波おどり」を開催する。
- イ 阿波おどり活性化支援事業 11,000千円 (<sup>㉔</sup>10,772千円)  
本県の誇る伝統芸能である「阿波おどり」を通じて、観光客の誘致を促進するため、徳島市の阿波おどりの運営等に対して支援を行う。
- ウ 春の阿波おどり支援事業 12,000千円 (<sup>㉔</sup>12,000千円)  
「春の阿波おどり」として親しまれている「はな・はる・フェスタ」を、県内外へ発信できる観光資源として育成するため、その開催に対して支援を行う。
- (4) スポーツやイベントを通じた魅力発信
- ① 怪フォーラム交流事業 3,400千円 (<sup>㉔</sup>3,400千円)  
世界妖怪協会が認定する「怪遺産（鳥取県境港市、徳島県三好市、岩手県遠野市）」の所在3県が連携して、妖怪文化を活用した魅力発信、観光誘客促進及び地域間交流の促進による地域活性化を図るため、フォーラムを開催する。
- (5) スポーツやイベントを通じたにぎわい創出
- ① とくしまマラソン支援事業 30,000千円 (<sup>㉔</sup>4,000千円)  
スポーツ振興や健康増進を推進するとともに、徳島の自然やおもてなしの心を国内外に発信するため、「とくしまマラソン2016」大会の開催を支援する。
- ② とくしまマラソン・ランナースパラダイス事業<sup>⑩</sup>10,000千円  
とくしまマラソンにおけるにぎわいの創出を通じて観光消費拡大を図るため、大会前日にランナーをサポートする「前日祭」を新たに開催するとともに、大会終了後に開催している「後夜祭」を充実させる。
- ③ 徳島ヴォルティスにぎわいアップ事業 6,070千円 (<sup>㉔</sup>17,400千円)  
J1効果を継続的なものとするため、徳島県民デー等の開催により、全県的な応援の機運を醸成するとともに、アウェイサポーターに向けて観光PRを行う。
- ④ エンジョイ☆プロスポーツ事業 1,182千円 (<sup>㉔</sup>1,123千円)  
プロスポーツの楽しさ、素晴らしさをより多くの県民に知ってもらい、スポーツによるにぎわいと活力の創出を図るとともに、プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し、本県のPRを行う。
- ⑤ 「スポーツ王国」立国事業 7,951千円 (<sup>㉔</sup>7,995千円)  
県外企業、大学等のスポーツ合宿誘致や交流試合の実施による各施設の有効利用や交流人口の増加を進め、徳島へのリピーター拡大を図る。
- ⑥ とくしまアニメジャック事業 20,000千円 (<sup>㉔</sup>12,500千円)  
観光誘客の促進と、県内経済の活性化を図るため、アニメキャラクターや作品群を活用したアニメイベント「マチ★アソビ」などの充実や、情報発信の強化を行う。
- ⑦ vs東京とくしまにぎわい戦略事業 55,000千円 (<sup>㉔</sup>36,090千円)  
国内外からさらなる観光誘客を促進するため、クールジャパンの代名詞である「アニメ」を活用し、「マチ★アソビ」や「国際アニメ映画祭」のさらなる充実を図る。
- ⑧ 「マチ★アソビ」海外情報発信事業<sup>⑩</sup>10,000千円 [※<sup>㉔</sup>2月補正繰越]  
外国人観光誘客や国際文化交流を推進するため、「マチ★アソビ」における体験型イベントの充実や海外情報発信の強化を図る。
- ⑨ もっともっと知りたいとくしま事業 7,315千円 (<sup>㉔</sup>7,267千円)  
県内各イベントでの観光案内を行うとともに、県外イベントにおいて本県への観光誘客PRを実施する。
- (6) 交流拠点を活用したにぎわい創出
- ① 既存施設の魅力度アップ 1,046,499千円 (<sup>㉔</sup>1,012,348千円)

- 「産業観光交流センター」や「あすたむらんど」等観光施設の円滑な管理運営を図る。
- ・美馬野外交流の郷管理運営費 14,500 千円 (② 14,550 千円)
  - ・出島野鳥公園管理運営費 5,500 千円 (② 5,500 千円)
  - ・ふれあい公園管理運営費 288,860 千円 (② 290,219 千円)
  - ・子ども科学館管理運営費 367,639 千円 (② 369,369 千円)
  - ・産業観光交流センター管理運営費 275,000 千円 (② 274,964 千円)
  - ・観光施設魅力アップ事業 95,000 千円 (② 57,746 千円)
  - ・非常放送設備整備事業⑧17,000 千円
  - ・防災機能強化事業⑧88,000 千円

## 2 観光地域づくり推進組織の整備

### (1) 広域観光の推進

- ① 四国共同キャンペーン推進事業 35,000 千円 (② 35,000 千円)  
四国4県とJR四国など民間企業が、共同で広報・宣伝活動や誘致活動等を行い、四国及び徳島の観光イメージの強化を図る。(事業主体：四国ツーリズム創造機構)
- ② せとうち推進機構負担金 19,000 千円 (② 8,211 千円)  
瀬戸内海に隣接する7県が連携し、「瀬戸内ブランド」の形成を目指し、連携してブランドサイトの運営やプロモーション活動等を実施する。

## 3 戦略的な情報発信

### (1) 「おもてなしの国とくしま」の魅力発信

- ① vs 東京「おどる宝島!とくしま」キャンペーン事業 14,900 千円 (② 14,500 千円)  
本県への宿泊者数のさらなる増加につなげるため、「おどる宝島!パスポート」の発展・充実を図るほか、キャンペーンブックの制作など各種事業を展開し、強力に観光誘客を促進する。
- ② 広域滞在型観光整備推進事業 4,750 千円 (② 4,750 千円)  
「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」において誘客・滞在型観光の促進を図るため、民間事業者等が連携・協働して取り組む広域的な事業を支援する。
- ③ 観光情報提供費 12,287 千円 (② 13,020 千円)  
インターネットを活用した観光情報提供システムによる情報発信を行うとともに、県内外の観光案内所等における観光宣伝や全国大会等で配布するための観光宣伝資料の作成を行う。
- ④ みんなでにぎわいづくり事業 11,800 千円 (② 11,800 千円)  
観光客の周遊性・滞留性を高め、本県への交流人口の拡大を図るため、官民一体となった観光客の受入態勢の充実を図る。
- ⑤ とくしまロケーション・ブランド発信事業 14,535 千円 (② 15,970 千円)  
本県の豊かな自然や魅力的な伝統文化等を「とくしまロケーション・ブランド」として活用し、映画、テレビ番組等を誘致することにより、本県の魅力を全国に発信する。

### (2) 四国DCに向けた戦略的魅力発信

- ① 「おどる宝島!とくしま」DC推進事業⑧75,000 千円 [※② 2月補正繰越含む]  
平成29年4月～6月にJR各社等と協働で実施する大型観光キャンペーンである四国Destinyキャンペーンをより効果的に実施するため、旅行商品の造成促進や「観光客の足」の確保、戦略的な情報発信を行う。

### (3) インバウンド推進に向けた海外への情報発信

- ① 外国人観光客倍増推進事業 21,800 千円 (② 31,750 千円)  
訪日観光への追い風を取り込み2020年までの外国人延べ宿泊者数10万人を達成するため、東アジア、東南アジア等において現地プロモーションや情報発信を強力に展開する。
- ② ワールドワイドインバウンド推進事業⑧20,000 千円 [※② 2月補正繰越]  
訪日外国人観光誘客をさらに強力に推進するため、新たに欧米地域を誘客対象地域に加え、

新たな切り口、手法により徳島の魅力を発信し、誘客の増加を図る。

#### 4 観光消費拡大の取組

##### (1) 「とくしま県産品振興戦略」の推進

###### ① 県産品の販路拡大

###### ア 「とくしま県産品振興戦略」推進事業 4,500 千円 (② 7,600 千円)

県内での消費拡大と大都市圏での認知度向上を図り、県産品の振興による地域産業の活性化を促進するため、アンテナショップを活用した市場調査の他、県産品利用キャンペーンなどを実施し、情報発信の強化を図る。

###### イ 県産品海外魅力発信拠点整備事業 ④ 4,000 千円 [※② 2 月補正繰越含む]

世界に羽ばたく県産品として、海外における県産品の認知度向上と販路拡大、本県への観光誘客に繋げるため、海外アンテナショップの設置等を行う。

###### ウ 徳島とくとくターミナル運営費 20,443 千円 (② 20,583 千円)

大型駐車場と高速バス停留所を備えた「徳島とくとくターミナル」における物産館等の円滑な運営を行う。

###### エ 物産観光交流プラザ運営費 15,807 千円 (② 15,937 千円)

徳島市の阿波おどり会館内に位置し、県産品の展示即売及び観光情報提供の拠点となる物産観光交流プラザの円滑な管理運営を行う。

###### オ 物産あっ旋費 10,699 千円 (② 10,737 千円)

各県外本部等において、県産品の販路拡大、情報の収集提供等各種事業を実施する。

###### カ 特産品の振興 1,152 千円 (② 1,247 千円)

見本市の開催等により本県特産品の県内外への販路拡大を図る。

###### ② 伝統的産業の振興

###### ア 伝統的工芸品産業振興費 1,240 千円 (② 1,240 千円)

「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいて指定された阿波和紙、阿波正藍しじら織、大谷焼について、各展示会への参加を通じ、伝統的工芸品産業の振興を図る。

##### (2) コンベンション誘致の促進

###### ① コンベンション誘致促進事業 39,800 千円 (② 30,350 千円)

本県への交流人口の増加を図るため、コンベンション開催費助成に加え、大規模大会に対する会場使用料助成による積極的なコンベンション誘致を行うとともに、お得な「観光モデルプラン」や「グルメ・土産ガイド」などの提供による「おもてなし」の充実を図り、観光誘客を促進する。

##### (3) 観光関連産業の振興

###### ① 各種支援制度の充実

###### ア 観光施設等整備資金貸付金事業 10,400 千円 (② 10,610 千円)

民間活力による観光施設の整備を促進するため、民間事業者に資金を融資する。

(融資限度額) ・ 観光施設整備資金 2 億円

・ スポーツ合宿関連施設整備資金 2 億円

・ 大規模宿泊施設整備資金 5 億円

(融資期間) 10 年 (うち据置 1 年以内)

(融資枠) 340,000 千円 (② 347,406 千円)

###### ② 観光関係団体等への助成

日本観光振興協会等の各種団体が実施する事業へ分担金等を支出し、団体の育成を図る。

###### ア 県旅行業協会補助金 41 千円 (② 41 千円)

###### イ 日本観光振興協会分担金 650 千円 (② 650 千円)

###### ウ 観光資源活用推進費補助金 950 千円 (② 950 千円)

# 特集

## 2

# マイナンバー制度 (第4回)



玄番 芳江 氏

## 年末調整に向けて マイナンバーの収集はお済みですか？

マイナンバー制度が2016年1月から開始されました。雇用保険の手続き等では、マイナンバーの使用が始まっていますが、雇用保険の手続き等がなかったため、まだマイナンバーを収集していない従業員がいる事業所も少なくありません。しかし、年末調整ではマイナンバーの記載が必須となります。今回は、マイナンバーを収集する際の注意点について解説したいと思います。

### ①管理責任者の選任

まずは、マイナンバーを取り扱う責任者を決めます。場合によっては、責任者1名と担当者数名を決め、マイナンバーの取扱者を明確にしておきます。

### ②利用目的の通知

個人情報保護法15条1項に基づき、利用目的をできる限り特定しなければなりません。利用目的を通知する際は、書面で明示することをお勧めします。求められているのは「利用目的の通知」であり、「同意」までは求められていません。

### ③番号確認・本人確認

マイナンバーを収集する際には、なりすましを防止するため、事業主に番号確認・本人確認が義務付けられています。現在勤務している従業員に、本人確認は不要ですが、新たに雇い入れる従業員には必要になります。個人番号カードがある場合は、個人番号カードのみで番号確認・本人確認が同時にできます。個人番号カードのない場合は、番号通知カードで番号確認をし、身元確認書類（免許証等）で本人確認を行います。

年末調整には、扶養家族のマイナンバーの記載も必要になりますが、扶養家族の番号確認・本人確認も会社がしなければならないのでしょうか？答えは「NO」です。所得税の年末調整は、従業員自らの手によって書類が作成・申請されるものなので、扶養家族の個人情報は従業員自身によって提供されます。利用目的の通知や番号確認・本人確認の義務は従業員本人が負うこととなりますので、会社が扶養家族に利用目的の通知や番号確認・本人確認をする必要はありません。

### ④マイナンバーの管理

事業主は、取得した従業員のマイナンバーを適切に管理することが義務付けられています。漏えいさせない保管方法や保管・管理に対するシステムやルール作り、担当者への教育が必要になります。



## 株式会社オーム技研

このコーナーでは中央会の助成事業である「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金事業」に採択された県内中小企業のものづくりトップランナーをご紹介します。

第6回目は「5軸マシニングセンター導入による小物・薄肉加工への挑戦（平成25年度）」と「仕上げ作業の自動化による加工の均質化、生産性アップ、作業環境の改善（平成26年度）」をテーマにもものづくり事業に取り組まれた『株式会社オーム技研』の米花基文社長にお話を伺いました。

同社は、硬質アルミ合金を中心とし、薄肉・複雑形状の航空機部品、半導体製造装置向け部品などの高精度加工に取り組まれており、近年5軸マシニングセンターや多層式遠心バレル研磨機を導入して製造プロセスを改革されております。また、平成28年にJISQ9100/JISQ9001を認証取得し、恒温室を構えるなど生産環境・体制を整え、新たな加工方法を研究、挑戦し続けておられる注目の企業です。

### 1 御社の沿革、特に航空機部品加工に携わることになった経緯をお聞かせください。

昭和62年まで勤めていた企業が業績不振により、解散・廃業したことを契機に、その機械工場の約半分を買い取り、義父より将来展望が開ける業種は「航空機産業」ではないかとの提案を受け、昭和62年7月に現在の会社を設立しました。今もそうですが、当時、素人集団の航空機参入はかなり難しかったのですが、幸いなことにちょうどバブルの時期であり、簡単な部品の加工を受注することができました。



お姉さんの絵を背景にした米花社長

創業時、汎用フライス2台から航空機部品の切削加工に携わってきましたが、軽さと強度と品質をハイレベルに要求される航空機部品の製造が軌道に乗るまでは大変苦勞しました。経営革新計画を策定し、それに併せた設備を導入するなど、とことん生産の体制作りに力を注いできました。その結果、現在航空機関連が売上の大半を占めており、その他は半導体製造機械関連があります。

### 2 平成25年度、26年度のものづくり補助金事業の目的及び内容と成果をお聞かせください。

平成25年度事業では、小型化・軽量化が求められる航空機部品の加工に対応できる「5軸マシニングセンター」を導入して、小型・薄肉加工技術の高度化による品質の向上、低コスト化、納期の短縮化の実現のために取り組みました。

本工作機械は、そのとき受注競争をしていたボンバルディア社のG7000ビジネスジェットの部品加工にベストフィットし、受注に繋がりました。

平成26年度事業では、航空機部品の仕上げ工程の自動化による加工の均質化、生産性アップ、



小物・薄肉製品の加工ができる5軸マシニングセンター  
作業環境の改善に取り組むため、「多層式遠心  
バレル研磨機」(製品、砥粒、コンパウンドを  
一緒に入れてドラムに入れ回転させることによっ  
て製品表面を磨く機械)を導入しました。

「多層式遠心バレル研磨機」を導入したこと  
によって、自動化によりコストの低減が図られ、  
均質化により表面粗度が向上し、仕上げ時間を  
従来の約2/3に短縮することができました。た  
だ、一定の仕上がりの品質を実現するためには、  
製品の材質、形状、寸法等に対して、砥粒、加  
工条件などを変える必要があり、その都度調整  
模索しています。一定の関連性を見出すにはま  
だ時間が必要です。



仕上げ作業の自動化が図れる多層式遠心バレル研磨機

### 3 航空機部品の一部はアルミブロックからの削り出しと聞いています。薄肉・複雑形状の加工において考慮しなければならないノウハウがあれば教えてください。

基本は治具を使用した加工です。手順によっ

て加工時間が2～3倍違ってくることもあり、  
形状・材質に起因するひずみ、切削熱によるね  
じれをなくす加工方法を装置メーカーと刃物  
メーカーに助言を仰ぐことです。私ども単独で  
の経験は知れたもので、他業種の講演等で知り  
得た情報をもとに弊社で応用し試行錯誤するの  
が、弊社のノウハウです。



航空機部品の例(アルミブロックから削り出して作る)

### 4 加工技術、CAD/CAM 技術、デザイン等に熟知した人を育てることが重要と考えますが、大切にされていることは何でしょうか。

従来の加工教育手順は、汎用⇒NCフライ  
ス⇒MC加工⇒5軸MCの順番で習熟してい  
ましたが、今ではMC加工から操作する方  
法を採用しています。『1個でもMC機で加工  
を』の考えから、どうすれば最後まで加工  
出来るかを考えながら訓練することで加工  
手順の省略に繋げることができました。理  
想的には1チャッキング(1回の取付け)で  
加工完成まで到達する手順が目標となり  
ます。社員には理論的な考え方や判断力、  
誠実さ、コミュニケーション力を大切  
にし、技術者としてだけでなく、人間的  
にも魅力ある人材になってほしいと願っ  
ております。

今の弊社があるのも、すべては社員のおか  
げであり、今後も社員を大切にしながら、  
社員と共に成長していきたいと考えてお  
ります。

**5** 新たに工場を建設されて、ますます航空機部品加工に特化した方向に進まれようとしていますが、ものづくりにおける中小企業の役割と、今後の展望をお聞かせください。

今年3月にトヨタ自動車(株)の社長が言われていましたが、「潮目が変わった」と。

『中小企業であっても、世界ではグローバル競争の中に置かれており、品質 = ISO9100 を取得・維持して当然、納期は守れて当たり前、その上コスト競争ありき』という難しい時代になりました。さらに、海外の航空機メーカーは増産態勢になっています。このような状況に対応するために弊社は、5軸マシニングセンターを増設し、温度管理に対応した新工場を建設しております。

新規開拓事業として、航空機エンジン用タービン部品の受注を考えています。耐熱Ni基金等の加工は簡単ではありませんが、今後の受注の中心となるはずなので、それに対応できる体制を構築していきたいと考えております。その他、人工骨の中核をなすチタン合金などの難削材の加工も手掛けていきたいと思っています。

弊社は、現在の「加工屋」から、付加価値を上げた商品を提供できる「部品屋」になりたいと考えています。『たとえ小さな一歩でも、昨日より確実に前へと進んでいること』、これこそが弊社のモットーです。常に向上心と挑戦する精神を持ち、顧客の信頼・満足を得る製品作りをし続け、徳島の雇用とものづくりに貢献していきたいです。



**【今回の取材を通して】**

大きな時代のうねりの中で、経営理念を見失うことなく、変化の潮流に柔軟に対応していかれる逞しさを感じるとともに、自社の社員に誇りを持って、日々成長されている姿に感銘を受けました。また、アルミブロックからの削り出し製品で5軸マシニングセンターを使用し、1チャッキングで加工完了する方法に特化することにより、省工程化を実現させている技術力の高さに感動しました。常に新しい技術開発に果敢に挑み、日々研究を積み重ね、努力を惜しまぬ姿勢に触れさせて頂き、自分自身の仕事への取り組みに生かしたいと思いました。

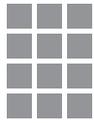
今後も同社の高い技術と意欲を活かし、付加価値の高い品質の製品を提供し続け、顧客との強い信頼関係をさらに深めていくことが、地域社会の発展にも繋がっていくと感じました。米花社長、お忙しい中ありがとうございました。



(株)オーム技研外観写真

**企業の概要**

- 会社名 株式会社オーム技研
- 所在地 徳島県板野郡松茂町字満穂146
- 電話 (088)699-2944
- FAX (088)699-2947
- E-mail hyonohm@ec4.technowave.ne.jp
- HP <http://www.ohmgiken.jp/>
- 代表取締役 米花 基文
- 設立年月日 昭和62年7月
- 従業員数 18名



# 組合ホットニュース

## 平成28年度「健康を考える県民のつどい」 企業部門において阿波ネット協同組合員である阿波スピンドル株式会社が受賞

平成28年9月12日（月）徳島市のあわぎんホール（徳島県郷土文化会館）において、9月の「健康増進普及月間」及び「がん征圧月間」の協調行事として平成28年度「健康を考える県民のつどい」が開催されました。

表彰式典では、健康づくり推進活動に貢献のあった個人と団体と企業に徳島県知事表彰が贈られ、企業部門においては、阿波スピンドル株式会社本社が表彰されました。この受賞を機に、さらに一段のご発展ご躍進をご期待申し上げます。受賞おめでとうございます。



企業部門で受賞した阿波スピンドル(株)



平成28年度健康を考える県民のつどい

### 〈企業部門〉受賞企業一覧

阿波スピンドル株式会社本社、医療法人明和会たまき青空病院、日亜化学工業株式会社

## 創立40周年記念式典開催 徳島県室内装飾事業協同組合

平成28年10月21日（金）徳島市のザ・グランドパレスにおいて、徳島県室内装飾事業協同組合の創立40周年記念式典が開催されました。同組合は、現在、徳島県下37社の室内装飾工事業者又は室内装飾品小売業者が集まり、積極的に事業に取り組まれております。

記念式典では、来賓、組合関係者等総勢85名が出席し、織原理事長が「現在も続くデフレ不況の中で様々な活動を行い、組合員一丸となり徳島県の室内装飾業界の発展に貢献できるようさらなる努力を傾注していきたい。」と挨拶されました。表彰式では、組合事業に貢献された27名の方々が受賞されました。式典後の記念祝賀会も華やかに執り行われ、大いに盛り上がりました。



挨拶される織原理事長



徳島県室内装飾事業協創立40周年記念式典

# 情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役員職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

## 《全体の景況》

一部の業種においては、秋需期に向けて引き合い増加や原油価格の低下状態、運賃改定により収益面が改善基調にあるなど、景気の実勢に復調の兆しが見え始めている。しかし、今月寄せられた報告からは、円安による原材料高で利益が圧迫されている事や猛暑による売上高への影響、公共工事発注率の低下に頭を抱えているといった声が聞かれ、景況感の下振れ懸念が依然として緩和されない状況が継続している。

台風による影響、海外情勢及び為替市場の不安定な状況に加えて、慢性化した人手不足も積重し、県内の中小企業経営における先行き懸念は内需・外需ともに高まっている。

## 《各業界の情報》

### 【製造業】

#### 〈食品製造業〉

【味噌】 前年同月比、味噌の生産量は89.3%と大幅な減少となった。猛暑による影響も心配され、出荷量も微減となった。  
 【菓子】 売上高不変。収益状況悪化。今後、食品表示法について食品加工場はハイレベルな衛生管理が求められるようになってくるようであるが、工場の改装費などの経費を考えるとかなりの投資になると頭を抱えている。

#### 〈木材・木製品〉

【木材】 秋需期に向かい、原木出材量は多くなっており、価格もやや強含みに展開している。原木が新材になり、各製材所からの注文が多くなってきている。  
 【木材】 木材業界に関連する業態は、相変わらず大変厳しい状態である。景気が上向いているような要素は全く無い。

#### 〈印刷〉

【印刷】 売上高不変。収益状況不変。オリンピック等の盛り上がりや景気回復に繋げていきたい。また、円安による原材料費の上昇は利益を圧迫しており、今後、円高での多少のコストダウン効果を期待している。  
 【印刷】 前年同月比では、売上高は全般的に横這いであるが、収益状況が若干悪化したと感じる。地元企業からの受注は相変わらず低調である。

#### 〈窯業・土石製品〉

【生コン】 今年は公共工事の発注が少なく、本年度に入って全体的に昨年を下回る出荷量が続いている。

#### 〈鉄鋼・金属工業〉

【鉄鋼】 新たな設備投資の動きも見受けられるが、景気回復感薄く、先行き不透明感が拭えない。  
 【ステンレス】 不安定な為替相場で、輸出関連への影響も懸念され、先行きの不透明な状況が続いている。

#### 〈一般機器〉

【機械金属】 売上高や収益状況の改善に繋がる大きな変化は見られない。中国経済の衰退や円相場・株価乱降下に伴う国内経済への影響など景気への先行き不透明感が依然として強い。また、雇用情勢の回復による人手不足が懸念される。

### 【非製造業】

#### 〈卸売業〉

【食糧卸】 原料玄米の価格が上昇気味であり、利益を圧迫している。台風による品質低下が心配される。  
 【各種商品卸】 秋需へのスタートが遅れ気味である。

#### 〈小売業〉

【繊維卸】 売上高減少。収益状況不変。流通の中で、既存の販売方法をとっている小売業は売上が縮小しており、新しい売り方としてECサイトが目立っている。資本力やスピードでは強い力を持つ大企業に対し、中小企業の小売業は新たなサービスを生む事が求められている。  
 【ショッピングセンター】 専門店では、先月オープンした飲食店の売上が好調であるが、新規店舗の誘致がなかなか進まないのが現状である。

【プロパンガス】 今度の防災訓練で地域の方々にガスの発電機の良さを周知し、業況の好転に繋げていきたい。  
 【電気機器】 エアコン等の季節商品は動いたが、その他の家電製品は動きが鈍い状態が続いている。

【量小売業】 あまりの暑さで、仕事の依頼が少なかった。これから涼しくなってくるので、需要の増加に期待を寄せている。

#### 〈商店街〉

【徳島市】 今年は猛暑続きの影響により更に客足が鈍かった。市況の悪さも重なり業況は悪化。  
 【阿南市】 猛暑の影響で客足が少なく、売上も変化がなかった。

#### 〈サービス業〉

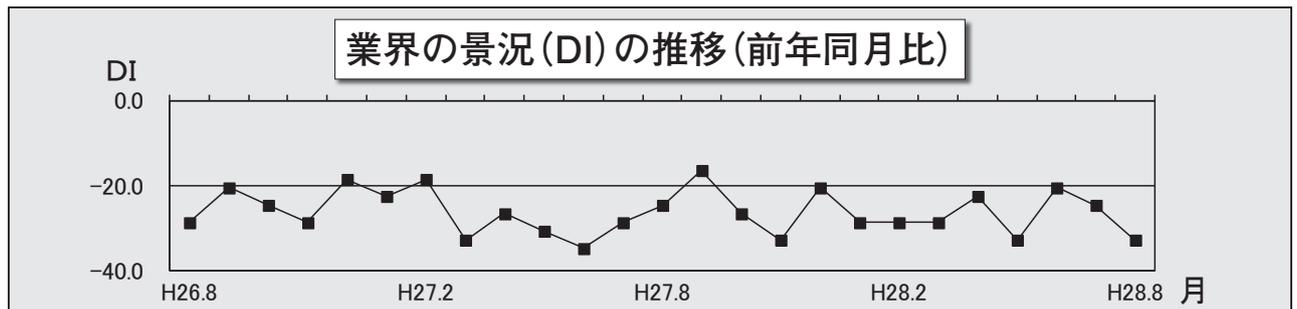
【土木建築業】 工事は少し減っているが、阿南道路等の南の工事や既設道路構造物の維持管理の業務量が増加している。  
 【自動車整備】 例年8月は稼働日数が少ない為、自動車販売数が落ちるが、今年是对前年比売上高が増加となった。車検及び点検整備などの収益状況は、ほぼ例年並み。  
 【旅行業】 パス料金が改定されてから収益状況は良くなったが、業況は低調であった。

#### 〈建設業〉

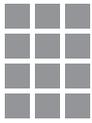
【建設業】 公共工事の発注が遅れている影響で、上半期発注率80%にはほど遠い状況である。  
 【解体業】 住宅の住み替え支援事業による空屋住宅解体工事発注が好調である。  
 【板金工業】 仕事は順調に受注しているが、収益が伴っていない。  
 【電気工業】 新設住宅口数は、172件(対前年比75.1%)と大幅に減少した。

#### 〈運輸業〉

【貨物運送業】 飲料品関係において輸送量が増加した。しかし、阪神方面等の仕事はあるが、帰り便が無い為、厳しい状況が続いている。軽油単価の低下状態により収益は黒字基調となっている。  
 【貨物運送業】 製造関係では、猛暑日が続くことから清涼飲料水の出荷増への期待があったが、そこまでの伸びはないようである。



\*DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



# 青年部コーナー

## 青年部活動トピックス

### ◇ 平成28年度 徳島県中小企業青年中央会 第2回 役員会 ◇

平成28年8月4日(木)、徳島県中小企業団体中央会 会議室に於いて新執行部による初めての「平成28年度徳島県中小企業青年中央会 第2回役員会」が開催され、以下の提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

- 第1号議案 今後の年間スケジュールについて
- 第2号議案 今後の予算について
- 第3号議案 徳島県商工3団体 事業内容説明について
- 第4号議案 徳島商業高等学校との包括業務提携事業について
- 第5号議案 平成28年度組合青年部活動促進支援事業の募集について
- 第6号議案 とくしまご当地グルメフェスティバルについて
- 第7号議案 平成28年度 リーダー研修会の開催内容について
- 第8号議案 全国中小企業青年中央会通常総会開催に向けて

平成30年度には、全国中小企業青年中央会通常総会を徳島県が開催する予定であることから、過去の開催状況、委員会組織の決定、開催までのスケジュール、来賓予定者、会場関係等の協議を致しました。今後の役員会でも会長を筆頭に事前準備をしていきます。

### ◇ 徳島商業高等学校との包括業務提携事業 ◇



HP設計のため、徳商で打ち合わせ

今年度も、徳島県立徳島商業高等学校において、Jimdoを活用したホームページ作成支援事業が実施されています。実施対象として8件の企業選ばれ、それぞれに模擬会社ComComのスタッフが専属で数人体制のチームを作って、ホームページ作成にあたっています。クライアントの要望を反映したホームページにするため、各社と綿密な打ち合わせを行っていました。

### ★今後のスケジュール★

- 平成28年度組合青年部全国講習会(平成28年11月4日 神奈川県横浜市)
- 四国ブロック交流会(平成28年11月15日 愛媛県松山市)
- 徳島県商工3団体青年部次世代プロジェクト会議 勉強会(平成28年11月30日)

## ◇徳島県商工3団体次世代プロジェクト会議 東日本大震災被災地視察◇

平成28年9月13日(火)から15日(木)まで、岩手県陸前高田市及び釜石市へ現場視察に行き参りました。

9月14日(水)には、陸前高田市役所に於いて陸前高田市長から陸前高田市の被災現状、今後災害に対応するための計画・心構えについての演説があり意見交換が行われました。また、陸前高田市の建物、道路、インフラ等の復興状況を視察致しました。

9月15日(木)には、釜石商工会議所に於いて釜石商工会議所の青年部及び事務局から釜石市の被災現状、安心安全なまちづくり、個人住まい・商工業者の再建等の講演があり意見交換が行われました。



防波堤の工事



奇跡の一本松



陸前高田市長と意見交換①



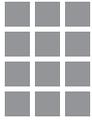
陸前高田市長と意見交換②



釜石商工会議所青年部と意見交換①



釜石商工会議所青年部と意見交換②



# 中央会トピックス

## 徳島県官公需適格組合協議会 通常総会・懇親会 開催

平成 28 年 8 月 31 日（水）16 時 30 分より、徳島市の徳島ワシントンホテルプラザにおいて徳島県官公需適格組合協議会の通常総会・懇親会を開催しました。ご来賓に四国経済産業局中小企業課の田坂謙介氏、片桐敬子氏を招き、会員総数 6 組合全員が出席し、全ての議案が原案通り承認されました。総会後には懇親会が開かれ、会員組合間で活発な意見交換があり、相互の交流が深められました。



徳島県官公需適格組合協議会 通常総会



四国経済産業局中小企業課  
課長補佐 田坂 謙介氏

## 「中央会間連携協定事業」に係る鳥取県企業との交流会開催 (徳島県)

平成 28 年 9 月 21 日(水) 12 時 30 分より、災害時中央会間連携協定に基づく交流事業の一環として、鳥取県内の組合関係社等が徳島



石原金属(株) 企業視察



日本フネン(株) 企業視察

県を訪れ、企業視察並びに意見交換会・交流会を開催しました。

企業視察では、協同組合徳島県機械金属工業会の組合員企業である石原金属株式会社と日本フネン株式会社を訪問し、各社の製造工程や防災対策などの説明を受けるとともに工場見学を行いました。その後、徳島市内のホテルサンシャイン徳島にて開催された意見交換会では、鳥取県から 21 名、徳島県から 24 名が参加し、A グループ（鉄鋼組合）と B グループ（機械金属組合）に分かれ、今後の両県の連携事業の推進等について活発な意見交換がなされました。その後、懇親会が開かれ、両県の親睦が深まる有意義な時間となりました。



両県による意見交換会

# 日本全国 名城めぐり



## 「弘前城」

所在地：青森県弘前市下白銀町1

築城種類：平山城

築城年代：慶長16年（1611）

築城者：津軽信枚

天守の現況・形態：層塔型 三重三階 木造（現存）

弘前城は、津軽地方を平定した津軽為信の志を継いだ子の信枚（のぶひら）が慶長16年（1611）に築城しました。築城当時は五層（5階建）でありましたが、寛永4年（1627）落雷により焼失しました。その後、文化7年（1810）に本丸の辰巳櫓を三重に改築して御三階櫓を天守代用としました。これが江戸時代からの現存天守12箇所のうち東日本唯一の現存する天守となっています。

天守の高さは、約14.4メートルあり、現存する三重天守の中で最も低いものとなっています。屋根瓦には、防寒対策として銅瓦が使われています。天守の最大の特徴は、見る位置によって見え方が違うことです。内堀側から見た天守は、切妻破風や狭間で飾られ、一方、本丸側から見た天守は、採光のための銅板張りの窓がたくさんあり、一見すると別の天守のように見えます。

弘前城の広大な敷地は、「弘前公園」になっており、公園内には、約50種2,600本余りの桜が咲き誇り、特にさくらまつり期間中は、朱塗りの下乗橋に満開のピンクの桜が、石垣の上にそびえる天守に映え、訪れる多くの観光客を魅了します。

弘前城は、本丸以外石垣を用いず、他はすべて土塁で固められています。現在、弘前城本丸の石垣が外側に膨らむ「はらみ」がみられ、崩落する危険性があることから、平成26年から石垣修理工事が行われています。天守の真下から石垣の一部を修理するため、平成27年8月から約3か月かけて、総重量約400トンの天守を解体せずにそのままの状態を移動させる「曳屋」と呼ばれる工法で、背景に青森県の最高峰の山で、標高1,625mの岩木山が見える仮天守台へと70m移動しました。天守が仮天守台から元の場所に戻るのは、平成33年に予定されています。

弘前城の定番の姿は、「下乗橋と天守」でしたが、石垣修理の工事期間中は「岩木山と天守」という新しい景観が楽しめます。（崇）



## 「東京物語」

1953年日本公開 上映時間：2時間16分

監督：小津安二郎

脚本：野田高梧、小津安二郎 撮影：厚田雄春

美術：浜田辰雄 音楽：斎藤高順

出演者：笠智衆、東山千栄子、原節子、杉村春子 他

「東京物語」は、尾道に暮らす周吉（笠智衆）、とみ（東山千栄子）の老夫婦が東京に住む子どもたちを訪ねることから始まるお話です。東京で生活している長男の幸一（山村総）と長女のしげ（杉村春子）は日々の生活に追われ両親を持てあましてしましますが、唯一、戦死した次男の未亡人の紀子（原節子）だけが二人を優しく出迎えてくれます。

杉村春子の憎まれ役、周吉の友人である沼田（東野英二郎）の好演が見事で、また笠智衆、東山千栄子の味わい深い夫婦の会話とたたずまい、また原節子の素晴らしさ！原節子の表情、台詞を思い出すだけで涙が溢れてくるほどです。

小津作品は、カメラを低い位置に固定し撮影することにより、畳に座って生活する日本文化に合わせた日本家屋の様式美を表現していると言われています。

また、構図にとにかくこだわり、画面の中の人物の配置はもとより、小道具の配置にまで細かく気を配っているそうです。

小津安二郎監督の代表作と言われる「東京物語」。今もお世界的に高い評価を受けている美しいこだわりの映像と素晴らしい人間ドラマを是非ご堪能下さい。（典）

何かとストレスの多いこのご時世。職場や家庭で居づらさ生きづらさを感じている方も多いのではないのでしょうか。

そんなあなたのために、このコーナーでは肩の力を抜いて、日常を少しでも楽に過ごすためのちょっとしたコツをお伝えしていきたいと思っています。

今回のテーマは

## 「出来事に意味はない、あなたが意味を与えるまでは」 ～フレームの掛け替え（リフレーム）～

まずはこのイラストを見てください。  
どんな状況に見えますか？



道路を横断する少年に見えますよね。  
(もちろん、違う状況に見えても OK です。)  
なぜ、そのように見えたのでしょうか？

次に、このイラストを見てください。  
どんな状況に見えますか？



授業中に手をあげる少年に見えますよね。  
(これまた違う状況に見えても OK です。)  
なぜ、そのように見えたのでしょうか？

お気づきの方も多いと思いますが、このふたつのイラストの少年は全く同じものです。



では、なぜ同じ少年のイラストでも違う状況に見えたのでしょうか？

それは、少年そのものが意味を持っているのではなく、歩行者信号や教科書（本）といった背景にあるものが意味を決めているからです。

これと同じことが、私たちの日常にもたくさんあるので、次の例で考えてみましょう。

### エピソード1 ～状況のリフレーム～

営業職のA子さんは、仕事でもプライベートでもいつも判断が遅く、自分のことを「優柔不断」だと思っています。決断が遅くて商談のチャ



ンスを逃したり、事務処理が遅く上司に叱られたりと、優柔不断な性格が災いして散々な目に遭っていると感じています。

しかし、ある日こんな出来事がありました。

A子さんは営業先でライバル社の営業担当者B氏とバッタリ出くわし、たまたまその商談の一部始終を見る機会がありました。

Bさんのトークは明るく軽妙、相手の質問にも即答し、無理難題にも嫌な顔ひとつせず、何でも引き受けます。これに対して自分はどうか？即答できず、会社に持ち帰らないと返事ができないとか、無理難題もすぐには応じないとか……。A子さんは、Bさんの完璧な営業術に勝ち目はないなと感じ、取引を諦めていました。

しかし、後日、諦めていたその取引先から注文の依頼が来たのです。「なぜだろう？」と不思議に思うA子さんでしたが、取引の先の担当者はこう打ち明けてくれました。「こちらの話をじっくり聞いてくれ、何でも安請け合いしない誠実な対応、丁寧に話を進める姿が信頼できる」と感じたからです。

A子さんは自分ではいつものようになかなか決断できないと感じていましたが、じっくり時間をかけたことで、チャンスをものにできたのです。

A子さんの行動パターンに変化はありませんが、状況が変わればそれが生きてくることも多々あるのです。この出来事をきっかけにA子さんは自分の短所だと感じていた「優柔不断」な部分を、「よく考え慎重に行動できる」という側面からも捉えられるようになりました。

## エピソード2 ～内容のリフレーム～

Cさんは、自他ともに認めるキレイ好き。持ち物も少なくしてシンプルに生活することを理想としています。そして何より、家の中が散らかっていることが許せません。

ところが、Cさんの奥さんは洋服や食器、部

屋に飾る雑貨類の収集が大好きで、Cさんとは趣味趣向が真逆です。しかも育ち盛りの子どもは片付けが大の苦手、家の中が物であふれて散らかっており、Cさんは家の中では常にイライラしています。家族もそんなCさんの性格を知っているので、いつも家の中がピリピリしています。

そんな状況を見かねて、Cさんの友人がこんな風に言いました。「物が全く散らかっていない家で生活するということは、あなたの周りには誰もいないということになりますね。本当にそんな生活を心から望んでいますか？散らかっているのは、あなたの周りに愛すべき家族がいる証しではありませんか」

その言葉を聞いてから、Cさんは「散らかればまた片付ければいいんだ」と思うようになり、家族を理解し円満に生活しているそうです。

このように「優柔不断な性格」にも「散らかっている家」にも、それ自体に特に意味はありません。良い意味も悪い意味も私たちが、これまでの体験や記憶を基に後から与えているだけなのです。

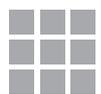
ひとつ勘違いしないで頂きたいのは、ネガティブな考えを単に否定したり、無視したりして無理にポジティブシンキングをしようということではありません。

今回、ここでお伝えしたいのは、出来事や物事そのものには意味はなく、私たちが後から意味を与えているということです。

また、物事の見方や考え方は決して一つではなく、色んな側面があるので、普段から色んな角度から見たり感じたりすることを心がけてください。

それができれば、凝り固まった思考パターンが柔軟になったり、日常生活が楽になったりしてくるし、問題を抱える人に対しても、望ましい方向に導くお手伝いもできるようになるかもしれません。自分にとっても他人にとってもとても有効なコツですのでぜひ活用してみてください。

(M)



# お知らせコーナー

## 中小企業等経営強化法が施行されました。

中小企業・小規模事業者・中堅企業等を対象として、(1)各事業所管大臣による事業分野別指針の策定や、(2)中小企業・小規模事業者等への固定資産税の軽減や金融支援等の特例措置を規定した

**「中小企業等経営強化法」**が、7月1日付で施行されました。

### [中小企業等経営強化法の概要]

## 1 中小企業等経営強化法の目的

### (1) 生産性向上の必要性

少子高齢化、人手不足等の状況において、効果的に付加価値を生み出せるよう、製造業はもとより、相対的により生産性の低い非製造業における生産性の向上が必要。

### (2) 業種横断的な経営課題への対応

事業活動に有用な会計管理の徹底、財務内容の分析、ITの導入等、経営資源を十分活用するための取組をさらに普及させることが重要です。そのためには、支援機関の伴走型の支援によるきめ細かな経営課題の解決が必要。

### (3) 業種別の経営課題への対応

中小企業・小規模事業者が抱える経営課題や生産性向上のための取組方法は、事業分野や規模ごとに異なります。そのため、同業者等のベストプラクティスをもとに、自社において対策が講じられるように、取組を分かりやすく提供する必要。

### (4) 中堅企業の重要性

中堅企業は、地域の中小企業との取引のハブとなるなど、地域経済を牽引する存在です。中堅企業の生産性向上を一体的に支援することで、地域経済への大きな波及効果が期待。

## 2 中小企業等経営強化法のスキーム

### (1) 事業分野別指針の策定

事業所管大臣が、事業分野ごとに生産性向上の方法などを示した指針を策定。

### (2) 経営力向上計画の認定

中小企業・小規模事業者や中堅企業は、自社の生産性を向上させるための人材育成や財務管理、設備投資などの取組を記載した「経営力向上計画」を各大臣に申請。認定された事業者は、様々な支援措置を受けられる。

### 3 中小企業・小規模事業者等による経営力向上のための取組の支援

#### (1) 「経営力向上計画」の認定及び支援措置

中小企業・小規模事業者等は、人材育成、コスト管理のマネジメントの向上や設備投資等、事業者の経営力を向上させるための取組内容などを記載した事業計画（「経営力向上計画」）を作成します。計画の認定を受けた事業者は、機械及び装置の固定資産税の軽減（資本金1億円以下の会社等を対象、3年間半減）や金融支援等（低利融資、債務保証等）の特例措置を受けることができます。

#### (2) 認定経営革新等支援機関による支援

認定経営革新等支援機関（主に商工会議所、商工会、中央会、金融機関、士業等）による計画策定の支援を受けられます。

### 4 新たな機械装置の投資に係る固定資産税の特例

○中小企業者が取得する新規の機械装置について、一定の要件を満たした場合、3年間、固定資産税を1/2に軽減。

○史上初の固定資産税での設備投資減税。赤字企業にも大きな減税効果が期待。

#### 適用期間

【3年間（平成30年度末までの投資）】

※中小企業等経営強化法の施行日以降に取得した資産が対象

#### 特例対象・内容

【支援対象】

○中小企業者が経営力向上計画に基づき取得する新規の機械装置（新品）

※中小企業者：資本金1億円以下等、大企業の子会社除く

○生産性を高める機械装置が対象

※既存の設備投資減税（生産性向上設備投資減税）の支援要件

（①160万円以上、②生産性1%向上（10年以内に販売開始）、③最新モデル）のうち、①、②を満たした機械装置が対象です。中小企業への配慮から、③は、要件から除外。

【特例】

○固定資産税の課税標準を3年間1/2に軽減

**経営力向上計画の申請を検討の会員様は、  
中央会までぜひご相談ください！**

※詳細は中小企業庁HPをご覧ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/index.html>

# 編集 後記

◆第140号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

---

◆特集では、「平成28年度徳島県商工労働観光部主要施策の概要」「マイナンバー制度」について紹介させていただきました。詳細については、徳島県ホームページをご覧ください。

---

◆今回「ものづくりの達人」コーナーでは、株式会社オーム技研様を訪問させて頂きました。米花社長が昭和62年に創業され、来年には30周年を迎えられます。社長のお言葉からバブル崩壊、リーマンショック等の苦しい時期を乗り越えてこられた逞しさ、強さを感じると共に、常にものづくりに挑戦し続ける姿に感銘を受けました。この度は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

---

◆25年ぶりに広島東洋カープがリーグ優勝を果たしました。カープファンの私にとってはこれほど嬉しいことはありません。特に優勝決定直後に黒田投手と新井選手が抱擁する姿は感動的でした。今年の広島カープを見て感じたのは、チームワークや一致団結することの大切さです。

先日「団結は力、見せよう組合の底力！」をテーマに石川県において中小企業団体全国大会が開催され、私も初めて参加させて頂きましたが、様々な経験をし、大変勉強になりました。この経験を生かし、今後も職場でのチームワークや会員組合様との信頼関係を大切にしながら、業務に励みたいと思います。

vol. 02  
平成28年度 第2号  
(年間4回発行 通巻第140号)

## 組合活性化情報 中央会とくしま



そばの花 水彩画/布川 嘉樹